宇部高探究科課題研究







How to make English fun ~ふるさとのものがたりを通じて~

こんにちは、宇部高校探究科2年の牧野、大上、真部です。私達は、小学生に楽しく英語を学んでもらうにはどうしたらよいか?を探究しています。グローバル化がより一層進む近年、英語は不可欠なものなってきました。2020年度には小学3・4年生では外国語活動、5・6年生では外国語が必修化されます。そこで私達は、小学生にとって、「楽しい」という経験をすることが、英語を学ぶ上での強い向上心に繋がると考え、「紙芝居」に注目しました。紙芝居には、演じ手と聞き手が向かい合いコミュニケーションをとる際に、楽しさを感じるという効果があります。このことから、紙芝居を使うことで、より英語に親しみ、楽しさを感じてもらうことができるのではないか、と仮説を立てました。また、宇部市には「城山の宝くらべ」という昔話があります。これを紙芝居の題材として採用し、宇部市の子供たちに故郷の物語を知ってもらうと同時に、宇部を世界に発信するきっかけにしようと考えました。

宇部高等学校

牧野莉帆:小学生の立場になって考え、彼らに英語が楽しいと思ってもらえるよう、彼らに英語の魅力を伝えられるよう、精進していきたいと思います。

大上いくこ:小学生に紙芝居を通じて英語を楽しく学習してもらえるよう、努力していこうと思います。また、宇部の物語を世界に発信し、宇部の魅力を伝えます。

真部友希子:私は英語の楽しさを小学生に感じてほしいです。故郷の昔話を通じて、英語を話したい!という向上心を持てたなら、これほど素敵なことはありません。



もっとおもしろくするためのアイデア募集!

2019年度のスケジュール







- ・上宇部学童保育クラブ訪問3回目(10月)
- ・オーストラリアニューカッスル市からの訪問団に紙芝居を披露(10月)
- ・世界オータムスクールinKOTOで紙芝居を披露(11月)

2回上宇部学童保育クラブを訪問しました。

1回目は紙芝居に関する英単語を用いたゲーム、紙芝居の読み聞かせ、紙芝居クイズなどを行いました。アンケートを実施したのですが、挙手で回答してもらったため、正しい結果を得ることができませんでした。

2回目は新たに自己紹介ゲームや宝物紹介を取り入れ、紙芝居には効果音をつけました。アンケートは配布し、1回目よりも内容を充実させたところ、英語が楽しい、もっと学びたいと感じた児童が多数いたものの、その反面、楽しくない、内容が難しい、と感じている児童もいました。

これらの結果を3回目に活かし、より良い研究を作り上げていこうと思います。